

第2回奈良県文化振興戦略懇話会開催概要

- 1 開催日時：令和3年8月23日（月）15：00～16：30
- 2 会場：ホテル リガーレ春日野 吉野の間
- 3 テーマ：奈良公園における文化の展示力の向上について
- 4 出席者：青柳委員、井上委員、上野委員、千田委員、藪内委員、荒井知事
- 5 議事概要

懇話会は非公開で開催。

委員からの主な意見は以下とおり。

【主な意見】

- ・ 観光客への説明は、質の高いガイドによる説明が効果的であるが、スマートフォンのアプリを利用した現地での説明ができればよい。難しくない気軽な説明も必要。
- ・ 周遊向上のため、CO₂削減のために、モビリティの改善を図ってはどうか。また、サイバーインフラを整え、観光客がスマートフォンで情報を見ながら巡ることができるようにしてはどうか。マップと立体的な画像を重ね合わせることも効果的。全域で展開するイヤホンガイドがあれば、学習効果が高まる。
- ・ ファミリー層、若年層には、奈良公園に来れば楽しいということを伝えていく必要がある。
- ・ 新たなリピーター層を求めらば、ニッチな情報提供が必要。マスマーケティング向けの観光ではなく、より深く知りたい人にアプローチする方法を検討する時期にきている。
- ・ デジタルアートの利用は一つのアイデアとしてよい。ただし、デジタルアートはプログラムの質にこだわっていく必要があり、予算と人材が必要になる。
- ・ いつでも能・狂言を鑑賞できると良い。奈良公園を能・狂言が豊かに栄える地のようにできないか。
- ・ （明治時代のお雇い外国人である）ベルツが「奈良公園ほど美しい公園はない」と言っている。奈良公園の観光コピーに使うべきではないか。奈良公園は「美」と「遊」を根本とすべき。

以上